

はじめに

この長久手町住民会議（愛称：～「長久手まちづくり」住民サミット～）は、長久手町の新しいまちづくりの方針となる「第5次長久手町総合計画」に向けて、市民の意見や想いを提案する場として立ち上がりました。このような会議は、これまで第4次にわたる長久手町の総合計画の中でも、初めて取り入れられた取り組みだということです。

この会議のメンバーは、20代から70代までの幅広い年齢層にわたり、会社員、主婦、NPOや自治会、ボランティアで活動する人など、職業も多種多様で、性別や年齢に関わらず、長久手町のまちづくりに提案したいと情熱を持った約20名が集まりました。

2008(H20)年3月の第1回会議以来、将来ビジョンの方向性をみんなで整理し、「これからの長久手町はこんなまちにしていくべきだ」「町内にはこんなすばらしいものがあるから、これを次の10年に活かそう」「ここは問題だから、改善してよりよいまちにしよう」など、4ヶ月間の短い期間に6回もの議論を重ねてこの提案書をまとめました。

この提案書に書かれた内容が、第5次長久手町総合計画へと反映されることを望みます。そして、今後10年間において、住民と行政が協力しながら、できることから実現していきたいと考えます。

最後に、今回の取り組みをきっかけとして、住民と行政が同じ場で議論し提案につなげる機会が今後も増えることを切に願います。

2008(H20)年7月 長久手町住民会議

～「長久手まちづくり」住民サミット～ メンバー一同